せしも、班勇の死後都護遂に人を得ず、爲めに西域再び叛くに至りたり。

三國（魏蜀吳）及晋代（二百年代より三百年代に）に在ては、烏孫及鮮卑著はれ、北魏（四百年代に）に在ては、突厥、鐵勒、鄯善等最も盛なりと悦般（伊犂）高車（坤巴里）其の威を逞うし、後周（五百年代に）に在ては、突厥、鐵勒（六百年代より八百年代に）大都護府を南北兩路に置き、其の一を後庭縣（烏魯木齊）に、他を龜茲（庫車）に建てゝ、各都督府を統べしも、其の後蠕々、突厥の威、諸國を壓し、次で吐蕃（青海）南に崛起して、各國悉く之に屬せり。此間亞剌比亞の商人葱嶺を越えて南路と通商しつゝありしが、唐の元和二年（八百〇七年）に至り亞剌比亞の宗教軍（マホメット教）は南路に侵入し、各地を攻略しつゝ切に回教を流布せんとす。當時南路は悉く佛教徒たりしを爲め、宗教戰は各地に激烈を極めしが、就中和闐の土民痛く之に反抗を試み、爲めに二十五年間の久しき、互に宗教戰に鎬を削りしが、遂に亞剌比亞人の勝利に歸せり。

宋の乾德四年（九百六十六年）喀什噶爾に布格拉（ブグラ）なるものあり、回教を以て起り、後兵を率ゐて葱嶺を超へサマルカンド地方を征し、大勝を得て凱旋するに及び、其人民を擒